

ID No.	3031
研究課題名	腸管免疫ホメオスタシスの維持における代謝物トランスポーターの役割の解析
研究代表者	長谷 耕二 (慶應義塾大学・教授)
研究組織	
受入教員	渡会 浩志 (東京大学医科学研究所・特任准教授)
研究分担者	高橋 大輔 (慶應義塾大学・助教)
	山田 裕貴 (慶應義塾大学・大学院生)
	曾根 康平 (慶應義塾大学・学部生)
研究報告	
<p>ジカルボン酸トランスポーター<i>Slc13a2</i>を標的とするガイドRNA 2種類(開始コドンを含むエクソン領域の両端を認識)を作製し、in vitro系評価系において有効性を確認した後、受精卵にインジェクションした。その結果、それぞれの遺伝子エクソン全体を欠失する遺伝子改変マウスの樹立に成功した。これらのマウスについてDSS誘導性大腸炎への感受性を解析した。さらに、ジカルボン酸の受容体であり機能が不明な点も多いGrp91欠損マウスも同様な手法によって作出した。</p>	